

山三六 大隊命令書

山三六 部隊命令

三月三日 釜山鎮 司令部

一 部隊の目的地は向と船艇は據り輸送せしむ

二 細部は関スル一書並別紙を如し

三 部隊は第一大隊主力ヲ除クハ三月三日。四。宿營地ヲ出發

ス得ル如ク各自工廠會館前集合シ鈴木大尉ノ指揮ヲ以テ

四 〇時以テ並順序ニ出發スル。経路ハ本道ヲ避ケ海岸

道ニ依ルモトス

五 第一大隊主力ハ。丸輸送指揮官山口大尉指揮ヲ受

クベシ

六 衛兵並對空監視及炊事勤務兵ハ三月三日。四。撤收シ

七 後續部隊ニ申送リタル後各原隊ニ復歸スベシ

八 塔ノ頂ニ於ケル塔ノ爲メ集合位置其他ニ關シテハ現場ニ於

テ指示ス

九 各大隊及連中隊ハ將校以下五名ヲ後發トシテ残置シ廠

令内外保清並ニ逃納物品及遺棄品等後始末ニ任
 シ。セシ。ト也。三葉加場ニカキリ乗船スヘシ
 八 歸還要員ハ先任者ノ指揮ヲ以テ四回。第十一號廠
 令東側ニ集合シ部隊、出發ヲ送リタル後廠官司令
 官ノ指揮ヲ受ケベシ
 九 予ハ〇〇丸輸送指揮官トシテ乗船地ニ先行ス
 山三四七六部隊長
 下達表 印刷配付
 配布区分 丙

陣中日誌用紙

陸軍

一 予定ノ如ク乗船〇〇〇金山出帆對潛對空警
 戒ヲ嚴シシムルニシテ下関入港
 二 先發者ノ誘導ニ依リ下関兵站廠舎ニ休宿ス
 三 山七六隊作命 奉王 別紙

七月三日
 晴

下関ヲ去リテ
 別府ニ至ル

一 中野中尉以下四名軍旗護衛トシテ 聯隊本部ト
 行動ヲ共ニス
 二 小野中尉、柏木軍曹、先發者トナリテ第一便ヲ以テ
 別府石垣原ニ先行ス
 三 主力ハ所命ノ如ク乗車ト六四ニ渡列車ニ依リ下
 関發一三五〇別府到着
 四 行軍ヲ以テ二〇〇別府十枚字原廠舎ニ到着 先發

衛生

者ノ指示ニ基キ廠管 兼期ノ輸送ニ拘ルハ隊
長以下志氣旺盛ナリ

受領命令

五 山七六深廠管命令要旨

一 部隊ハ本日ヨリ石垣原ニ宿營ス

命令 六 中隊命令

一

陸軍少曹 武田清一

荷物整理ノタメ本ニ至日ニミヨリ一瀬准尉ノ
指揮ニ入り別府驛ニ至ルハシ

七月二日

晴

支隊原

廠管

命令

一 兵器被服検査ヲ實施ス

二 中隊命令

陸軍少長 村瀬 敬二

昭和一四、一二(奉天・大野)

山七六深廠管命令要旨

深見隊命令

七月二日 晴

一 大隊ハ明ニ三日六時四十分發列車ニ依リ荷當地ニ出發ス

二 各隊ハ明ニ三日五時荷當地ニ發車場ニ至リ人員塔載

掛ノ指示ニ基キ乘車スベシ

三 本部各隊人員塔載掛ハ明ニ三日四時十分停車場ニ

至リ坪山小尉ノ指示ヲ受クベシ

各隊

下士官

傳令

四 第八中隊ハ一隊ヲ殘置シ鐘不入尉ノ指揮スベシ

五 各隊ハ左記ノ如ク先發者ヲ第一夜ニ別府石垣原ニ派遣シ

六 丸井少尉ハ直度ヲ受ケルベシ

左記

記

同

本隊本二出發

四本

下士官

將校(小野在尉)下士官

同

一

陸軍上野兵 白鳥敏夫

陸軍上野兵 白鳥敏夫
 福岡兵團本部連絡要員トシテ別府驛ニ至リ聯
 隊本部ヨリ出スル鶴田中尉ノ指揮ヲ受クベシ
 三 金作命 第一陣 別紙ノ如シ

七月三日 晴
 十文字原

一 指揮班長以上大隊實施ノ遭難時退船行動ニ関
 スル諸準備 海上輸送ニ関スル細部打合せヲ實施
 二 中隊八遭難時ニ於ケル裝備資材糧秣ヲ準備ス
 三 金作命 第三陣 別紙ノ如シ

七月三日 晴
 十文字原
 敵舎

陸軍上野兵 白鳥敏夫
 福岡兵團本部連絡要員トシテ別府驛ニ至リ聯
 隊本部ヨリ出スル鶴田中尉ノ指揮ヲ受クベシ
 三 金作命 第一陣 別紙ノ如シ

七月三日 晴
 十文字原

一 指揮班長以上大隊實施ノ遭難時退船行動ニ関
 スル諸準備 海上輸送ニ関スル細部打合せヲ實施
 二 中隊八遭難時ニ於ケル裝備資材糧秣ヲ準備ス
 三 金作命 第三陣 別紙ノ如シ

七月三日 晴
 十文字原
 敵舎

27
 本
 同
 同

六 大橋進衛 長野中尉 指揮ニ依リ本夜能本ニ出發

各隊 指揮官 兼 隊員 大橋進衛

至リ本陣ニ入リ

三 本陣 香瀬入員 兼 指揮官 兼 隊員 香瀬入員

二 香瀬入員 兼 指揮官 兼 隊員 香瀬入員

兼 隊員 兼 指揮官 兼 隊員